施工説明書

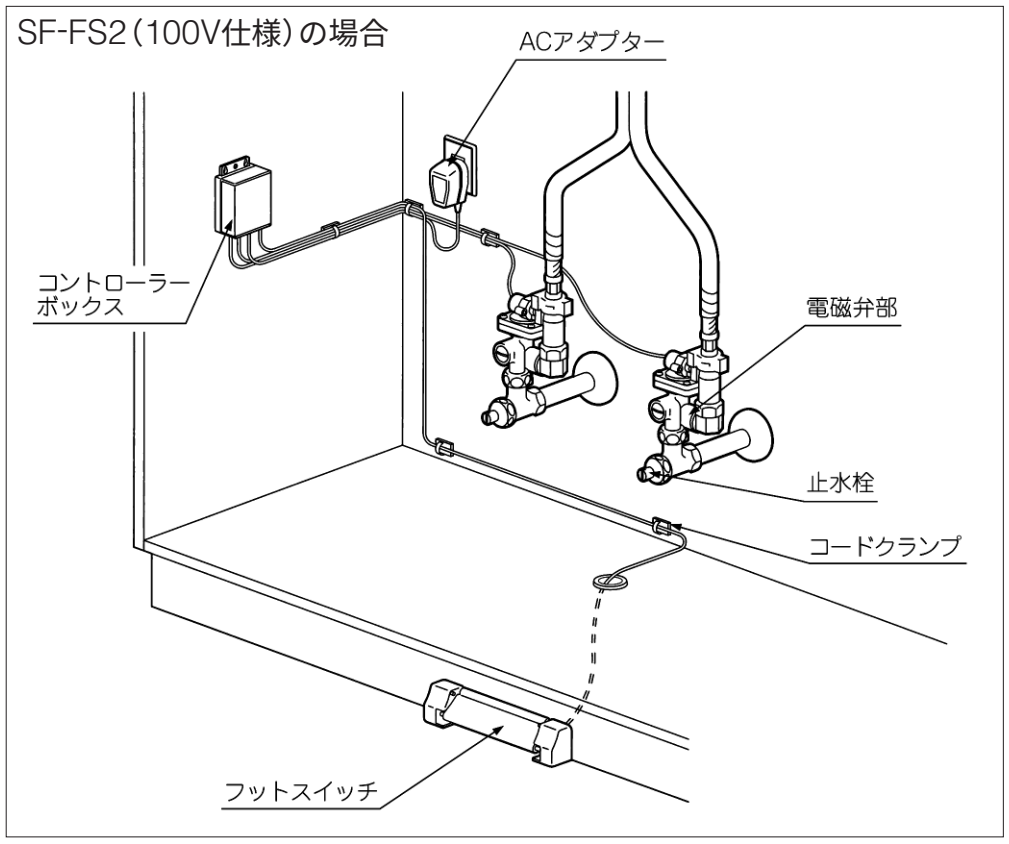
INAX

フットスイッチ

一般地用
SF-FS2　(AC100V仕様)
SF-FS2D (乾電池仕様)
寒冷地用
SF-FS2N　(AC100V仕様)
SF-FS2DN (乾電池仕様)

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●施工完了図



※SF-FS2D (乾電池仕様) には、ＡＣアダプターは付いていません。

●構成部品

●安全上のご注意

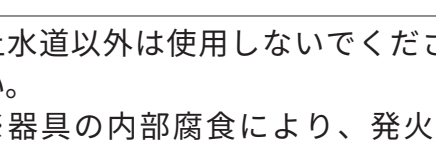
●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は取扱説明書と共にお客さまで保管いただくよう依頼してください。

用語の説明

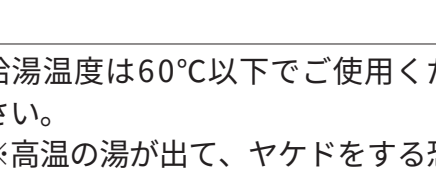
注意 …… 「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠注　意

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常作動してケガをすることがあります。



水につけたり、水をかけないでください。
※発火、ショート、感電、故障の恐れがあります。



バスルームなどの水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多いところでは使用しないでください。
※発火、ショート、感電、故障の原因となります。

電源コードがいたんだまま使用したり、ガタついているコンセントで使用しないでください。
※発火、ショート、感電の原因となります。
(AC100V仕様の場合)

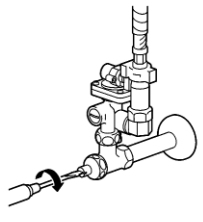
電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。
※発火、ショート、感電の原因となります。
(AC100V仕様の場合)

交流100V以外では使用しないでください。
※発火、ショート、感電の原因となります。
(AC100V仕様の場合)

上水道以外は使用しないでください。
※器具の内部腐食により、発火、ショート、感電、故障の原因となります。

給湯温度は60℃以下でご使用ください。
※高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。

適正な流量 (5～10L/分) に調節して、お使いください。
※サーモスタット付の水栓と組み合わせた場合、突然高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。



お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

株式会社INAX

本　社　☎0569-35-2700
関東支社　☎048-668-1177
関西統括支社　☎ 06-539-3500
北海道支社　☎011-271-1713
甲信支社　☎0263-36-2166
中国支社　☎082-223-1710
東北支社　☎022-301-1701
中部統括支社　☎052-201-1717
四国支社　☎087-821-1701
首都圏統括支社　☎03-5541-7111
北陸支社　☎076-264-1710
九州支社　☎092-282-3154

●使用条件

●給水・給湯圧力は以下の条件を守ってください。

〔ガス給湯器と組み合わせる場合〕

給水圧力 { 最低必要圧力…(水栓の最低必要圧力)+0.03MPa{0.3kgf/㎠}
最高圧力……0.75MPa {7.6kgf/㎠}

※水栓の最低必要圧力については水栓の施工説明書をご覧ください。

〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力……0.05MPa {0.5kgf/㎠}
最高圧力……0.75MPa {7.6kgf/㎠}

※ただし、整流・シャワー切替式水栓については、0.08MPa {0.8kgf/㎠} 以上を確保してください。快適な流量が得られません。

●給水圧力は給湯圧力より高いか、または同圧になるようにしてください。

●給水圧力が0.75MPa {7.6kgf/㎠} を超えるような高圧の場合は、市販の減圧弁等で適正圧力 (0.2～0.39MPa {2.0～4.0kgf/㎠} 程度) に減圧してください。

●給湯に蒸気は使用できません。

●給湯器からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

●給湯温度は、60℃以下に設定してください。

●施工前のご注意

●電気製品ですので水をかけないように注意してください。また湿気の多い場所 (浴室等) には設置しないでください。

●AC100V仕様は最高消費電力が10Wです。必ずこれに適した配線を用意してください。

●AC100V仕様は電気工事店に依頼してコンセントを取り付けてください。

●乾電池仕様は配線工事は不要です。(付属の乾電池をご使用ください)

●給水圧力範囲は0.05～0.75MPa {0.5～7.6kgf/㎠} です。この圧力範囲で使用してください。

●取付後の保守点検のために必ず止水栓 (別売) を設けてください。

●水栓を取り付ける前に必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

●けこみ板が弱いときは、フットスイッチを取り付ける前に補強をしてください。

●ビルトイン浄水器を接続する場合

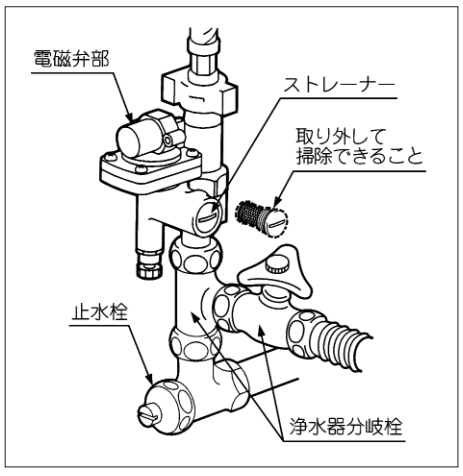
●浄水器専用水栓の場合

電磁弁部は浄水器分岐栓の下流側に取り付けてください。

分岐栓によっては、電磁弁部と干渉することがあります。

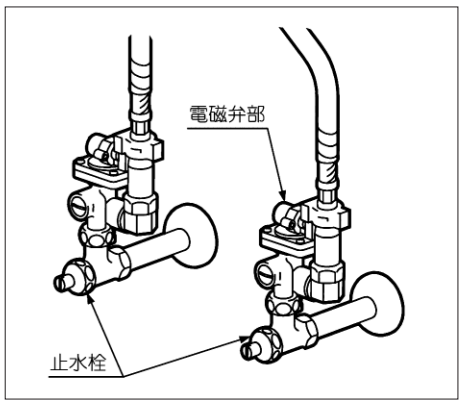
この場合は、電磁弁部を図のような向きにして取り付けてください。

※ストレーナーを取り外して掃除のできる空間を確保してください。



●浄水器兼用水栓の場合（浄水器一体型混合水栓）

通常の水栓と同様に施工してください。



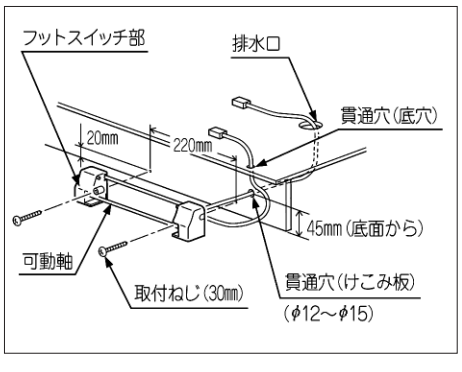
●施工方法

1. フットスイッチ部の取付け

フットスイッチ部をキャビネット底部のけこみ板部分に取り付けます。

※けこみ板部分に段差があったり、ゆがんでいたりすると取付けができませんので、平らな面であることを確認してください。

(1)フットスイッチの取付位置を決め、けこみ板 (底面から45㎜) または底板にコード貫通穴 (φ12～φ15) をあけます。

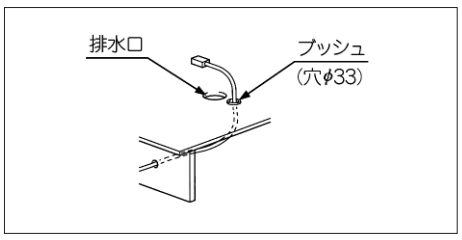


(2)フットスイッチから操作板を外しコードを貫通穴から通し、可動軸を下げてフットスイッチ本体を取付ねじ (長さ30㎜) 2本で固定します。

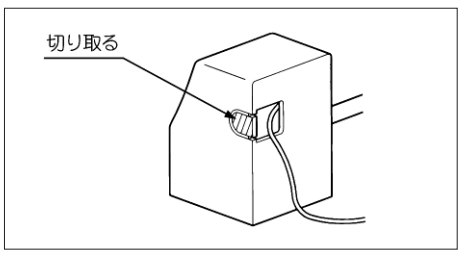
※フットスイッチ本体部が床から浮いていると破損の原因となりますので、必ず床に接地するように取り付けてください。

※高さ調節付のキャビネットに取り付ける場合は、必ずキャビネットの高さ調節後にフットスイッチ部を取り付けてください。

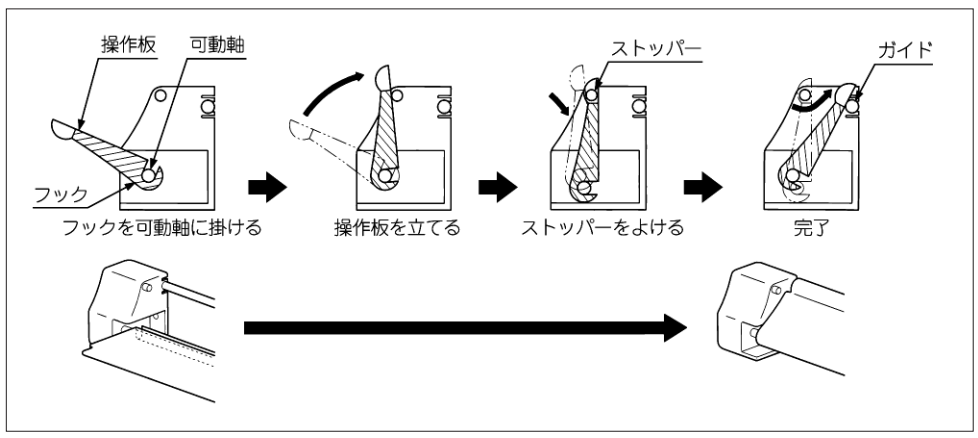
※ブッシュを使用する場合は、底板にφ33の穴をあけ、付属のブッシュをはめ込み、コードを排水口を利用して、キャビネット内に引き込みます。



※コードをフットスイッチ本体側面から出す場合は、フットスイッチ本体内部の壁 (右図の斜線部) を手で切り取ってください。



(3)下図を参考に操作板を取り付けます。

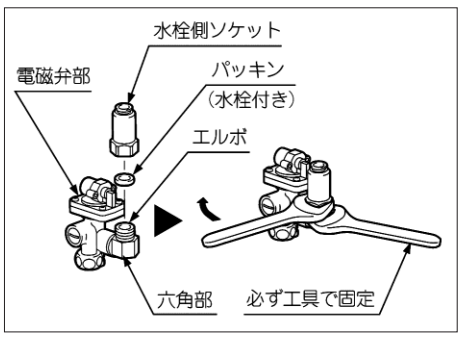


2. 電磁弁部の取付け

(1)電磁弁部に水栓側ソケットを取り付けます。

※必ず電磁弁部のエルボに付いている六角部を工具で固定してください。無理な力がかかると、破損する恐れがあります。

※パッキンは水栓に付いているものを使用してください。



※一度使用したパッキンを再度使用する場合は、漏水しないことを十分に確認してください。

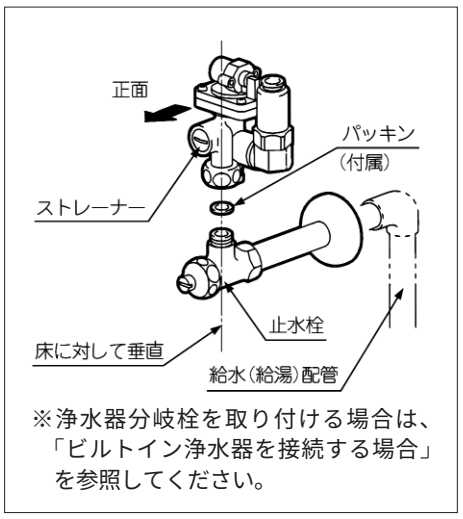
漏水の恐れがある場合は、パッキンを交換してください。

⑵ストレーナーが正面を向くように、電磁弁部を止水栓にモンキーレンチ等を使用して接続します。

※メンテナンスができるように給水(給湯)配管と電磁弁部の間に止水栓が設置されていることを確認してください。

※電磁弁は床に対して垂直になるように取り付けてください。異音が発生する恐れがあります。

※給水(給湯)配管がぐらつかないように固定されていることを確認してください。



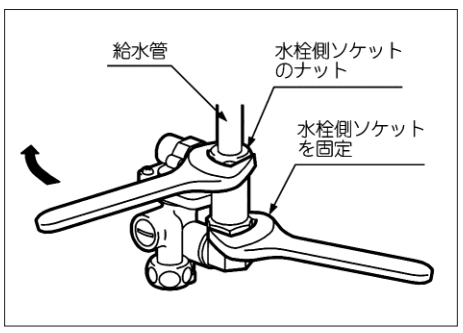
※浄水器分岐栓を取り付ける場合は、「ビルトイン浄水器を接続する場合」を参照してください。

※付属のパッキンを使用してください。

※施工後、水栓の銅管を曲げる、広げる等により電磁弁部に無理な力をかけないでください。

⑶水栓の給水・給湯管を水栓側ソケットに接続します。

※水栓側ソケットのナットを締め付ける場合には、水栓側ソケットを工具で固定してください。無理な力がかかると破損する恐れがあります。



※水栓側のソケットが、水平より下に向かないように取り付けてください。エルボから漏水する恐れがあります。

※電磁弁部に無理な力がかかったままにならないように、水栓の給水・給湯管を施工してください。無理な力がかかっていると、電磁弁の取付部がゆるみ、漏水する恐れがあります。

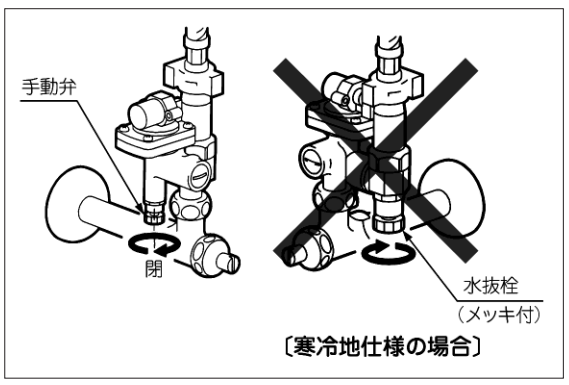
※水栓全体の施工は、水栓の施工説明書に従ってください。

⑷手動弁が手で、左いっぱいに回してあることを確認します。

(SF-FS2Dは手動弁が付いていません。)

〔寒冷地仕様の場合〕

※誤って水抜栓(メッキ付)を回さないでください。通水時に漏水します。

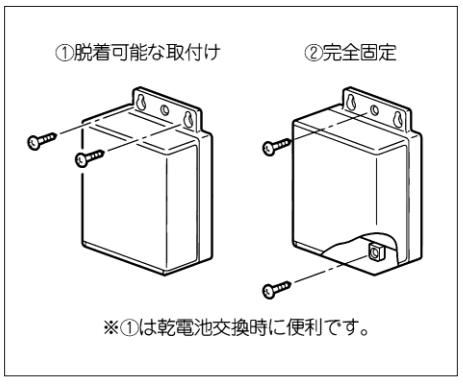


〔寒冷地仕様の場合〕

3. コントローラーボックスの取付け

⑴コントローラーボックスを取付ねじ(長さ16㎜)2本を使ってキャビネット内に取り付けます。

※コントローラーボックスは補強木のある位置(取付面をたたいて確認します)に取り付け、ぐらつきやがたつきのないことを確認してください。



※①は乾電池交換時に便利です。

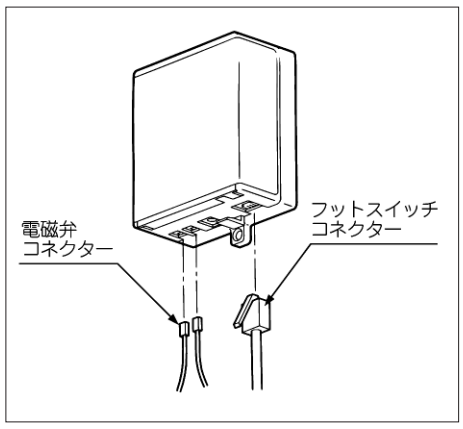
※各々のコードがキャビネットに沿わせて固定できる位置に取り付けてください。

※上下逆さまに取り付けないでください。結露により電磁弁に付着した水滴がコードを伝ってコネクターから内部へ水滴が侵入する恐れがあります。

※乾電池仕様の場合、乾電池交換がしやすいように電池フタの前にスペースを取り、なるべく手前の位置に設置してください。

⑵フットスイッチと電磁弁のコネクターをコントローラーボックスに接続します。

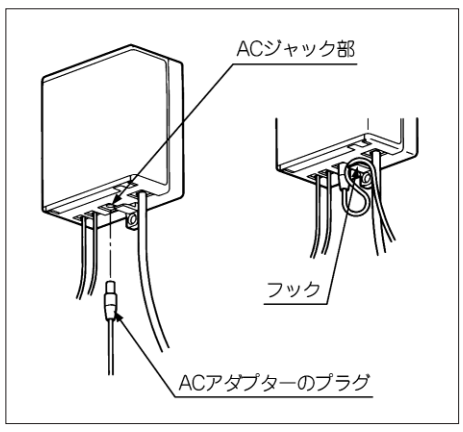
※奥まで確実に差し込んでください。



〔AC100V仕様の場合〕

ACアダプターの接続

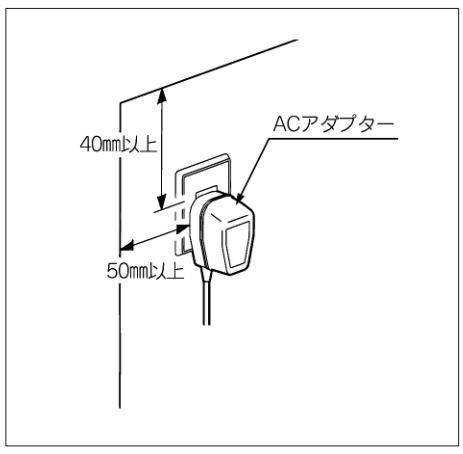
⑴ACアダプターのプラグをコントローラーボックス下側のACジャック部に確実に差し込み、コードをフックにひっかけます。



⑵ACアダプターをコンセントに差し込みます。

※コンセントをキャビネット内に新設する場合

- 電気工事店に依頼してコンセントを取り付けてください。
- ACアダプターが、キャビネット内壁にぶつからない位置にコンセントを取り付けてください。

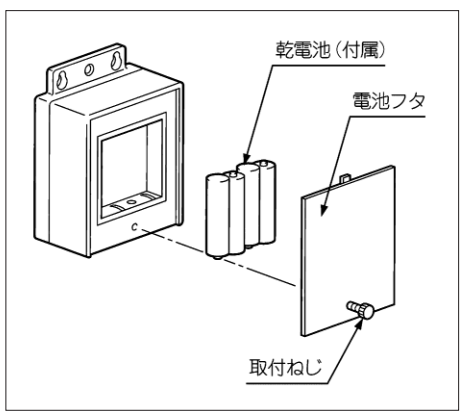


〔乾電池仕様の場合〕

乾電池の装着

コントロールボックスに乾電池(アルカリ乾電池単3×4本)を装着し、電池フタを取付ねじで取り付けます。

※取付ねじは手で回してください。

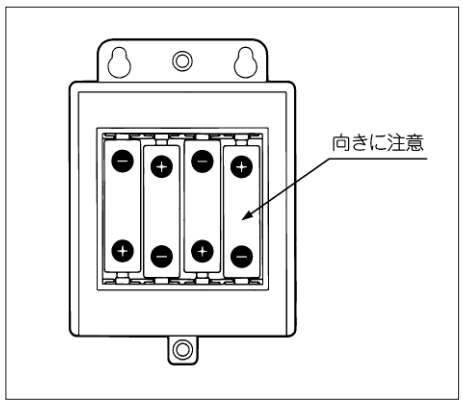


※電池の向きに注意してください。

※乾電池は確実に装着してください。

※乾電池装着の際にコントローラーボックス内に水が入らないよう注意してください。

※最初は付属の電池をご使用ください。



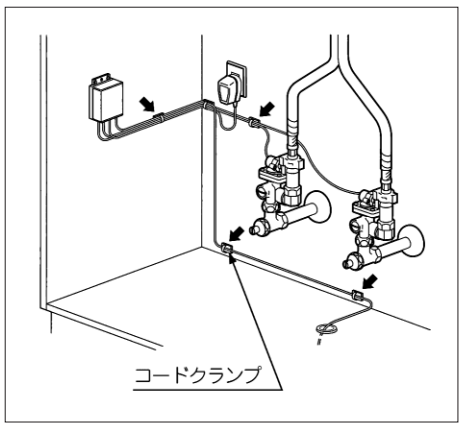
4. 各コードの固定

付属のコードクランプを使って各コードをキャビネット内に固定します。

※電磁弁のコードは電磁弁よりも高い位置になるように固定してください。

※安全のため、全てのコードは通水部に接触しないように固定してください。

※コードはキャビネットに沿うように固定してください。



●施工後の調節と確認

1. 作動確認

⑴AC100V仕様はACアダプターをコンセントへ差し込んであること、乾電池仕様は乾電池がセットしてあることを確認します。

⑵湯・水それぞれの止水栓を開いて給水します。

⚠注　意

適正な流量(5～10L/分)に調節して、お使いください。
※サーモスタット付の水栓と組み合わせた場合、突然高温の湯が出てヤケドをする場合があります。

⑶水栓を開いて吐水状態にします。(まだ水は出ません)

⑷フットスイッチを一度押すと吐水し、もう一度押すと止水することを確認します。

⑸吐水状態で水栓を操作し、水側のみ・湯側のみそれぞれ吐水させ、両側とも吐水することを確認してください。

⑹以上の確認後、接続部からの漏水がないかを確認します。

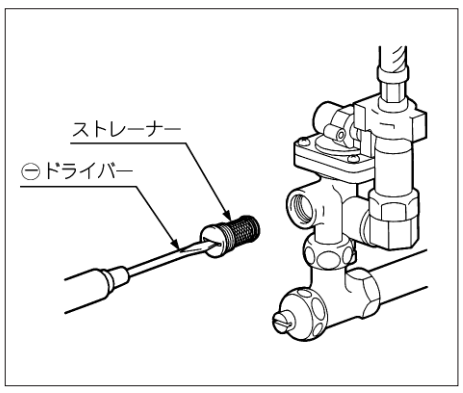
2. ストレーナーの掃除

ストレーナーが詰まると流量が少なくなり、十分な機能が発揮されません。

施工後必ずストレーナーを掃除してください。

※止水栓を閉めた後、マイナスドライバーでストレーナーを取り外してください。

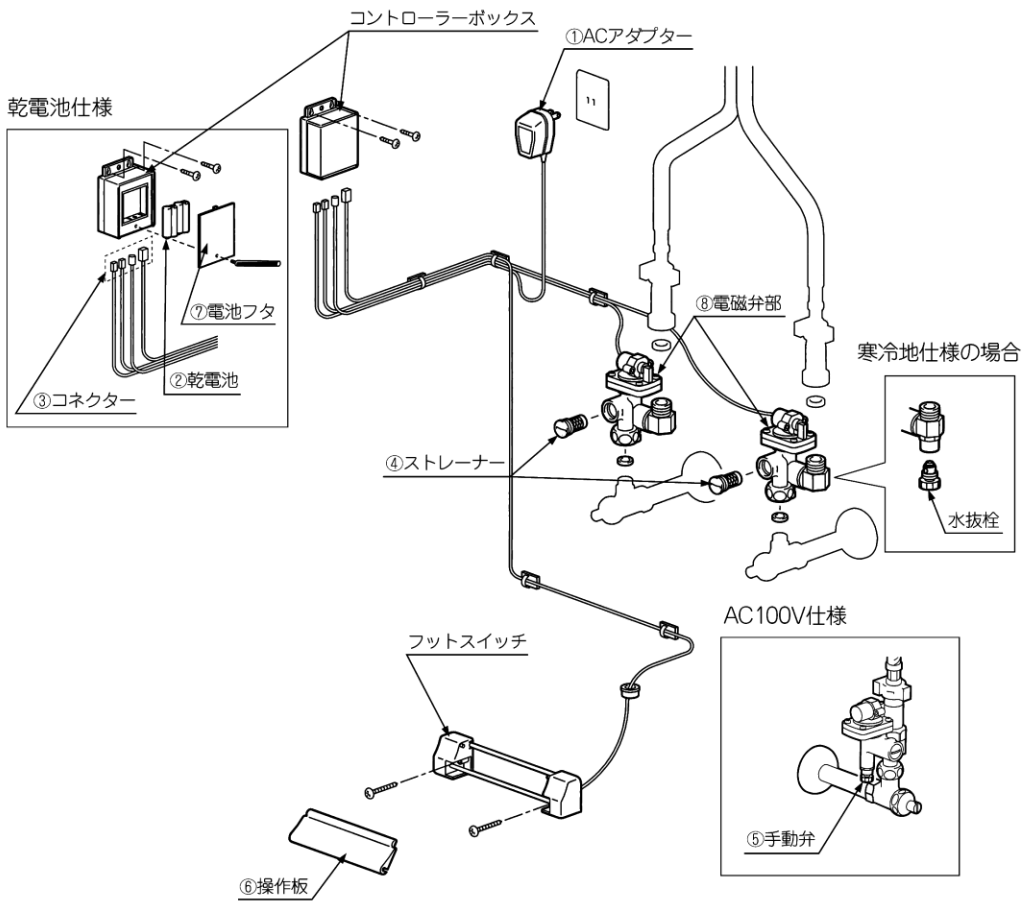
※ストレーナーを掃除した後、止水栓は元の位置に戻してください。



3. うまく作動しないときは……

以下の要領で点検を行ってください。

現　　象	点　検　内　容	点検箇所	処　　置
吐水しない	水栓が吐水状態になっていますか？	水栓の開閉ハンドル	水栓の開閉ハンドルを開いて吐水状態にする。
	コンセントに電気がきていますか？〔AC100V仕様の場合〕	—	停電、ブレーカーを確認する。 ※停電の場合、手動弁を「開」にすると吐水します。 ※停電が解除されたら手動弁を「閉」にしてください。
	ACアダプターがコンセントに差し込まれていますか？〔AC100V仕様の場合〕	①ACアダプター	ACアダプターを差し込む。
	乾電池は装着されていますか？〔乾電池仕様の場合〕	②コントローラーボックス	乾電池を装着する。
	電池フタが外れていませんか？〔乾電池仕様の場合〕	⑦電池フタ	電池フタを取り付ける。
	コネクターが外れていませんか？	③コネクター	コネクターを接続する。
	断水中ではありませんか？	—	回復するまでお待ちください。
	止水栓が閉じられていませんか？	止水栓	止水栓を左に回し開ける。
	ストレーナーにゴミ等が付着していませんか？	④ストレーナー	ゴミ等を除去する。
止水しない	手動弁が開いていませんか？(SF-FS2Dは手動弁が付いていません)	⑤手動弁	手動弁を閉じる。(左側いっぱいに回す)
操作板の動きが悪い	操作板が外れていませんか？	⑥操作板	操作板を取り付ける。
	操作板の裏に異物はないですか？	⑥操作板	異物を取り除く。
異音がする	手動弁は全閉されていますか？	⑤手動弁	手動弁を全閉にする。(左側いっぱいに回す)
	電磁弁は床に対して垂直に取り付けられていますか？	⑧電磁弁部	電磁弁を床に対して垂直に取り付ける。



●仕様

品　　番	SF-FS2、SF-FS2N	SF-FS2D、SF-FS2DN
電　　源	AC100V　50/60Hz	DC6V (アルカリ乾電池単3×4本)
消　費　電　力	常　時：0.5W（50Hz） ：0.3W（60Hz） 作動時：10W	2年以上 (100回/日使用時)
使用環境温度範囲	0～40℃	
使　用　圧　力　範　囲	0.05～0.75MPa{0.5～7.6kgf/㎠}	
使　　用　　水	上　　水	
使　用　給　湯　温　度	60℃以下	
スイッチ部の大きさ	280(幅)×56(高さ)×43(奥行)	
コ　ー　ド　長　さ	ACアダプター　1.8m	—
	フットスイッチ　1.4m	
	電磁弁部　0.8m	
給水(給湯)接続	G1/2(PF1/2)	